

事業番号	11 07 01	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	まちづくり推進費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課				
		実施期間	S43 ~	E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造								

## 1 現状と課題

都市計画法の規定により、概ね5年毎に人口、産業、土地利用等の都市計画に関する基礎調査を行い、これを踏まえ県内39都市計画区域において、概ね10年後を都市施設の整備目標年次とする都市計画区域マスタープランや、各種都市計画の決定（変更）を行っている。また、都市計画法の規定により、県都市計画審議会および県開発審査会を設置している。価値観の変化等により「まちづくり」に対するニーズが多様化しているが、専門家不足等により、対応が困難な市町村が増えている。


## 2 事業目的

都市の将来像とその実現に向けての道筋を明らかにするため、都市計画に関する基礎調査を実施し、都市計画区域マスタープランや各種都市計画を定め、県都市計画審議会及び県開発審査会により、都市計画法の規定に基づく事項について、調査・審議を適正に行う。「まちづくり」の主体は市町村であるが、行政だけではなく、民間企業や県民、教育機関や学生等と連携しながら、多様なニーズに対応した「まちづくり」を県としてサポートする。


## 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

**①信州地域デザインセンター（UDC信州）による市町村へのまちづくり支援**

- 市町村が抱えるまちづくりの課題の解決に向け、様々な方法により支援
- セミナー等を開催し、「公・民・学連携」を現場で進める「まちづくり人材」を育成
- 県内のまちづくりに係る情報を集約し、公式ホームページやFacebookなどにより内外に発信




▲高校と連携した町の魅力探し



▲民間企業と連携した広域的な社会実験

**②都市計画基礎調査の実施**


- 合理的かつ公平・公正な都市計画の推進のため、都市計画法第6条の規定による基礎調査を概ね5年ごとに実施し、都市における人口、土地利用等のデータを収集



▲民間企業と連携した社会実験

**③長野県都市計画審議会及び長野県開発審査会の開催**

- 都市計画の着実な実施のため、知事の諮問に応じ、都市計画に関する事項等を調査審議
- 適切な開発許可制度運営のため、開発許可に関する事項等を審議



▲UDC信州シンポジウム2021(オンライン)

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	市町村と協働のまちづくり新規実施件数	件	7	4	↘	3	↘	3	達成	継続的な事業実施地区を増やしていくため、年間3件の新規実施件数の確保を目指す。	
②	都市計画基礎調査実施市町村数	市町村	9	8	↘	6	↘	6	達成	都市計画区域指定の全44市町村について、一体的な土地利用の隣接市町村が同時に調査が実施できるよう配慮した上で、各市町村が概ね5年毎に調査が実施できる数値を設定。	

## 5 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計(予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	73,452	0	73,452	44,766	70,819	4.8
R3年度	9,741	42,297	28,000	80,038	52,017	76,695	4.8
R2年度	15,751	56,005	△500	71,256	64,237	64,237	4.8

事業番号	11 07 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	まちづくり推進費		部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課		

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>①信州地域デザインセンター（UDC信州）による市町村へのまちづくり支援</b> 対象となる市町村に対して、市町村の担当者との意見交換、相談内容に応じた専門家の派遣、アドバイザーとして庁内会議への参加、まちづくりセミナーの開催等を行った。この結果、まちづくり人材が育成されるとともに、各案件の支援を推進した。</p> <p><b>②都市計画基礎調査の実施</b> 対象となる市町村に対して、年度当初の周知や建設事務所を通して地域ごとの調整を行うとともに、調査内容について情報共有を行った。この結果、円滑に調査を実施できたため、年度内に業務を完了した。</p> <p><b>③長野県都市計画審議会及び長野県開発審査会の開催</b> 都市計画審議会を開催し、都市計画に関する事項の調査審議等を行った。 開発審査会を開催し、市街化調整区域の開発許可に関する審議等を行った。</p>
--

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	市町村と協働のまちづくり新規実施件数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	達成
対象となる市町村に対して、市町村の担当者との意見交換、相談内容に応じた専門家の派遣、アドバイザーとして庁内会議への参加、まちづくりセミナーの開催等を行った。こうした取組の結果、新規相談があり、目標を達成した。							
指標②	都市計画基礎調査実施市町村数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	達成
令和4年度は線引き都市の実施年度であり、市町の規模が大きく、費用負担も大きくなってしまふことから、実施する市町村数を減らすことで費用負担の平準化を行った。この結果、円滑に調査を実施することができ、目標を達成した。							

## 8 今後の事業の方向性

<p><b>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信州地域デザインセンター（UDC信州）による市町村へのまちづくり支援について、相談の件数の増加に対し、各支援レベルを維持していく必要がある。また、市町村のまちづくりの動きを加速させ、持続的で目に見える成果を出しながら、県としてUDC信州を設置した効果をPRしていく必要がある。</li> <li>・都市計画基礎調査の実施について、県と市町村で費用を負担して調査を実施しているが、実施単価の変動増などにより市町村の費用負担が増加しており、負担額の軽減について要望を受けている。</li> </ul>
<p><b>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信州地域デザインセンター（UDC信州）による市町村へのまちづくり支援については、優先順位を付けて効率よい対応を心掛けるとともに、庁内他部局、現地機関、関係団体とより一層連携して取組みを進める。また、重点プロジェクトを中心に具体的提案を示しながら、プロセスの途中であっても社会実験等の対外的な動きにつながるような取組みを進めるとともに、SNS等を活用したより積極的な情報発信に努める。</li> <li>・都市計画基礎調査の実施については、調査年次の調整や、他業務で実施した調査結果の活用など、市町村の費用負担の軽減に努めることで、引き続き円滑に調査が実施できるように配慮していく。</li> </ul>

事業番号	11 07 01	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>まちづくり推進費</b>		部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>1</b>	<b>都市計画諸費</b>		833 千円	891 千円	901 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	都市計画審議会の開催	直接	都市計画に関する事項の調査審議等を行うため、都市計画審議会を開催 開催回数：4回		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>2</b>	<b>都市計画推進費</b>		62,767 千円	75,121 千円	69,649 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	都市計画基礎調査業務委託	委託	人口、産業、土地利用等の都市計画に関する基礎調査を実施 市町村数：6市町村／44市町村		
2	信州地域デザインセンター事業	直接	信州地域デザインセンターを運営し、まちづくり支援、まちづくりセミナー等を実施 まちづくり支援件数：20件、セミナー開催回数：2回		
3	信州まちなか快適空間創出事業	委託	コンパクトシティ形成に寄与する「歩きやすいまち」「歩きたくなるまち」のモデル都市を造るため、社会実験等を実施し、ウォークアブルなまちづくりを始めるための後押しを行った。 社会実験のための基礎的調査等実施：松本市		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>3</b>	<b>住宅総務費（開発審査会）</b>		637 千円	683 千円	269 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	開発審査会の開催	直接	市街化調整区域の開発許可に関する審議等を行うため、開発審査会を開催 開催回数：3回		